

# 「MASP なんでも高座」

## 【発表概要】

2016年5月22日

題目・テーマ	守破離で活かす日本人のモデリング魂		
場所・会場			
講演予定日	2016年6月15日(水)	開始時刻	14:00 ~ 16:30
担当・講演者名	中山 健(ナカヤマ タケシ)	所属団体等	(株)日立ソリューションズ東日本
連絡先(電話)	会社)044-210-1949 携帯)070-6951-1838	メール	takeshi.nakayama.zc@hitachi-solutions.com

### 【主旨】

情報システムに関わる我々(広義のエンジニア)は、共通言語である'モデリング'で会話している。

- ① MASP 提唱の概念データモデル(CDM)等、代表的なモデリング手法の有効性を再認識する。
- ② その統合的な活用の方向性について、関係者と意見・情報の交換を行う場を作り、モデリング手法の普及を図る。

### 【内容】

小職は(H)グループの一子(孫)会社に身を置き、IT ベンダとして製造業・流通業のお客様に IT ソリューション、関連サービスを提供してきた。自身の業務を振り返ってみると、

- ・モデリング手法が常に傍に横たわっていた(その有効性と課題を感じつつ)
- ・手法の中核を成していたのは、CDM(概念データモデル)
- ・及び、SCOR(SCM の業務プロセスにかかわる参照モデル)である。

これらは、自前主義/自力指向が強い所属企業内ではキャッチアップが叶わず、社外にこれを求めるを得なかった背景がある。この振り返りと時代的・社会的背景に考えを巡らせ(約 75 分)、その後、

- ・本来日本人は'守破離'というモデル活用・モデル開発という民族文化に根ざした考え方・習慣を持っている民である

ことを踏まえた上で、【手法の統合的な活用の可能性、方向性】を皆さんと意見、情報交換(約 60 分)させていただきたく、宜しくお願いいたします。

### 【自己紹介】

中山 健 (ナカヤマ タケシ) 出身地:秋田、秋田大学大学院(土木工学専攻)修了

◎(株)日立製作所海外システム部で日立ブランドのシステム輸出に従事。

- ・東南アジアにおいて ERP(生産管理、会計)導入プロジェクトリーダー

◎現在、(株)日立ソリューションズ東日本にて、コンサルティングビジネス(業務改善/データ分析)需要予測分析、在庫分析を核にした、ソリューション導入前の効果検証。以下主なプロジェクト

- ・携帯電話機需要予測システム開発
- ・飲料メーカー物流改革業務概要設計
- ・自動車メーカーサービスパーツ需要分析予測・在庫分析
- ・機械加工部品系 EC サイト型番補正システム構想策定

◎SCC(Supply Chain Council)日本支部の運営に参画 1998~2010

SCOR(Supply Chain Operations Reference model)翻訳活動、同研究 WG 活動を継続中

◎講師歴:東京工業大学 CUMOT(Career-Up MOT)「戦略 SCM」2010~2015

※ 上記講座は、2016 年度から開催・運営全般を JILS に移管し継続中

◎趣味:Net(YouTube 視聴)、ハイキング、50 歳で購入した Road Bike(自転車)復活、算段中。

### 【アピールポイント】

新しもの好きだがイノベーターではなくアーリーアダプター。 -何かを'つくる'ことに嵌りがち-